

会 議 録

会議録	平成28年度 第3回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 基幹バスの路線改編について</p> <p>◆さなげ・足助線</p> <p>(2) 地域バスの路線改編について</p> <p>①稲武地域バス（区域運行）</p> <p>②足助地域バス「地域巡回線」（路線定期運行）</p> <p>③足助地域バス「通学線」（路線定期運行）</p> <p>④松平地域バス「日明ジュリナ線」ほか（路線定期運行）</p> <p>⑤高岡地域バス（路線定期運行）</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域バスの路線改編について</p> <p>①下山地域バス（区域運行）</p> <p>②小原地域バス（区域運行）</p> <p>(2) 平成28年度 豊田市幹線系統 国庫補助対象路線の評価について</p> <p>4 その他</p> <p>・障がい福祉に関するお知らせ（誰もが快適にバスを利用できる環境づくり）</p> <p>・次回、会議の開催予定について</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	平成29年2月9日（木） 午後1時30分～午後3時00分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>浅井 聡 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)</p> <p>古橋 靖弘 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理：渡邊)</p> <p>桑原 良隆 (愛知県振興部交通対策課) (代理：瀬古)</p> <p>高嶋 敏博 (愛知県豊田加茂建設事務所)</p> <p>坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所)</p> <p>柴田 学 (愛知県警察豊田警察署) (代理：竹下)</p> <p>羽根 博之 (豊田市都市整備部)</p> <p>小澤 伸也 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) (代理：川合)</p> <p>鈴木 義金 (豊田市区長会)</p> <p>二宮 京市 (豊田市高齢者クラブ連合会)</p> <p>釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会)</p> <p>三浦 司之 (豊田商工会議所)</p> <p>加藤 憲治 (愛知県タクシー協会)</p> <p>深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会)</p> <p>堀田 大祐 (名古屋鉄道株式会社) (代理：梅田)</p> <p>近藤 博之 (名鉄バス株式会社) (代理：加藤)</p> <p>境 政義 (豊栄交通株式会社)</p> <p>安達 雄彦 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	<p>1. 次第</p> <p>2. 平成28年度 第3回 豊田市公共交通会議 会議資料</p> <p>3. 当日配布資料：【資料2-③】 p.19 当日差替え</p>

(要約)

議事

【協議案件】

(1) 基幹バスの路線改編について

◆さなげ・足助線

○事務局 【資料1】に基づき説明。

○委員 利用者への周知はどのようにするのか。

○事務局 バス停や車内、ウェブを活用して、工事の状況を捉えながら迅速に対応していきたい。

<協議結果：全員承認>

(2) 地域バスの路線改編について

① 稲武地域バス (区域運行)

○事務局 【資料2-①】に基づき説明。

○委員 バス停の新設は観光目的もあるのか。観光目的の来訪者が区域運行を上手く利用できるような周知を行なっているのか。

○事務局 観光目的でわくわく事業の予算を使って新設したバス停もある。周知方法は利用促進委員会で作成したパンフレットを全戸配布しており、住民以外へは事業者と協力して車内や営業所で周知をしている。

○委員 新設の「ホテル岡田屋」バス停の設置箇所について、道路側から見ると植栽に隠れて見づらいように思う。ホテル利用者以外の一般利用者のことも考慮すべきではないか。

- 事務局 道路は国道であり設置が困難であったため、安全を考慮したホテルの敷地内にあるロータリーで設置をしていた。ロータリー内の設置箇所について道路側からも見やすい場所で改めて検討したい。
- 委員 バス停名称の横に記載してある番号は会議用のものなのか。バス停にもナンバリングがされているのか。地元以外の利用者は、バス停を名称ではなく番号で案内したほうが分かりやすい。番号も名称と同じくらいの重みがあると思う。
- 事務局 稲武地域バスはバス停に名称と一緒に番号も記載している。
- 委員 わくわく事業で整備をしてバス停を新設するということなので、これから様々な方に使っていただけるように、地元の方の気持ちを大切にしながら愛されるバスになるように PR をお願いしたい。

<協議結果：全員承認>

②足助地域バス「地域巡回線」(路線定期運行)

- 事務局 【資料2-②】に基づき説明。
意見等なし。

<協議結果：全員承認>

③足助地域バス「通学線」(路線定期運行)

- 事務局 【資料2-③】に基づき説明。
意見等なし。

<協議結果：全員承認>

④松平地域バス「日明ジュリンナ線」ほか(路線定期運行)

- 事務局 【資料2-④】に基づき説明。
意見等なし。

<協議結果：全員承認>

⑤高岡地域バス(路線定期運行)

- 事務局 【資料2-⑤】に基づき説明。
- 委員 今回の増便はこちらから聞き取りをして出てきた要望なのか。
- 事務局 窓口や電話などでこれまで要望があった内容である。実際どれくらいの方が要望をしているのかを把握するために、バスへ14日間アンケート用紙を設置し、木・金・土は運営協議会の役員が実際にバスへ乗車して聞き取りを行った。
- 委員 増便することに伴う経費はどのようになるのか。
- 事務局 増便に伴い経費は増えるが、利用見込みでカバーできる試算である。
- 委員 路線名はこれで定着していると思うが、愛着を持ってもらえるように愛称を考えるのも検討したら良いと思う。
- 委員 地域内だけでなく近隣市町へも乗入れをしていけると良い。今後の計画はどうか。
- 事務局 市域を越えた連携をすでにしている。高岡地域バスは、知立市やみよし市のバスへの乗入れを行っており、そのほかにも三河八橋駅へは知立市から、豊田厚生病院へはみよし市から、八草駅へは瀬戸市から、稲武地域へは長野県から乗入れがある。また、名鉄バス自主路線でも市域を越えた接続をしている。しかし、まだ不十分ということで議会の一般質問でも出ている内容であった。今年度新しい基本計画のもと評価システムの運用を開始しており、その中で地域を越えた連携についても検討をしていくところである。今後、この会議のなかでそういった内容について協議をしていただくことも出てくると思う。引き続き、ご協力をお願いしたい。

<協議結果：全員承認>

【報告案件】

(1) 地域バスの路線改編について

①下山地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告1-①】に基づき説明。
質問等なし。

②小原地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告1-②】に基づき説明。
質問等なし。

(2) 平成28年度 豊田市幹線系統 国庫補助対象路線の評価について

- 事務局 【報告2】に基づき説明。
質問等なし。

その他

- ・障がい福祉に関するお知らせ（誰もが快適にバスを利用できる環境づくり）

- 事務局 【地域で一緒に暮らすためのガイドブック】に基づき説明。

- 委員 公共交通機関での記載について、おいでんバスや地域バスでどのように理解を得ているのか、この冊子にプラスしてまとめたものがあると良いと思う。

- ・次回、会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成29年6月開催を予定している。

以上